



日本個人心理学会 第4回 学術大会  
プログラム・抄録集

大会テーマ | 「私の好きなアドラー」

大会長 | 鈴木義也 (東洋学園大学)

【第1日目】 2024年3月2日(土) 13:00～18:00

【第2日目】 2024年3月3日(日) 10:00～18:00

WEB SITE : <https://www.jsip-am.jp>

お問い合わせ先 : [jsip.taikai@gmail.com](mailto:jsip.taikai@gmail.com)

大会実行委員 : 浅井健史 (明治大学)

石山育朗 (國學院大学栃木短期大学)

高杉葉子 (立教大学人権・ハラスメント対策センター)

深沢孝之 (山梨県立大学 / 心理臨床オフィス・ルーエ)

八巻 秀 (駒澤大学)

協 賛 | 株式会社アルテ

## 大会長あいさつ

日本個人心理学会の大会も4回目を迎えようとしています。2019年の学会発足から5年、前身である日本臨床・教育アドラー心理学研究会の2011年の発足からだと13年の月日が流れました。

おかげさまで日本個人心理学会は順調に会員も集まりつつあり、学会誌、大会、研修会なども定期的  
に開催されて学術団体としての体を成しつつあります。

今回の大会は「私の好きなアドラー」というテーマです。アドラーが登場したのは臨床心理学の初期  
ですが、アドラーは私たちにとって今も学ぶことばかりのモデルとなっています。アドラー心理学を学  
ぶ私たちはアドラーとその心理学に大きな興味を抱いています。みんなアドラーが好きなのです。「ア  
ドラー好き」が集う所、それが日本個人心理学会です。

多くの人から「私の好きなアドラー」の声を聞けることを楽しみにしています。

この大会ではそんなアドラーの系譜を研修で紹介し、研究発表やシンポジウムでその学びを深めます。  
同時に、参加者の皆さんが「私の好きなアドラー」を大いに語ってアウトプットしてもらおう新企画とし  
てアドラーマーケットとアドラーカフェを設けました。

ぜひ会いに来てください。

日本個人心理学会第4回学術大会  
大会長 鈴木義也（東洋学園大学）

## 日本個人心理学会について

- 日本個人心理学会はアドラー心理学を研究する学術団体です。
- 日本個人心理学会は2019年の設立でまだ若い学会ですが、その前身の日本臨床・教育アドラー心理  
学研究会は2011年に設立され、合わせると10年を超える活動をおこなってきています。
- まだ若い学会ですが、基軸となるアドラー心理学はご存知のようにフロイトやユングと同期の歴史が  
あります。
- 新しい研究を重ねる心理学にとって、そんなに古いアドラー心理学を学ぶ必要があるのかと聞かれま  
すが、アドラー心理学には今でも非常に役立つ資源が大量に埋蔵されています。
- アドラー心理学はフロイトやユングに比べるとマイナーな存在でしたが、昨今の日本ではベストセ  
ラー『嫌われる勇気』のおかげで一般の方々にも知られるようになりました。
- 心理学は基本的には大学や学会などのアカデミックな場で育成されていますが、アドラー心理学は民  
間や市民の活動の中においても成長してきました。そのため、子育てや教育、ビジネスやキャリアな  
どの領域で早くから多くの実践を重ねてきています。



## 日程

3月2日(土)

13:00-17:00 研修会

17:00-18:00 アドラー・マーケット(書籍展示&懇親)

3月3日(日)

10:00-12:00 研究発表、自主シンポジウム

12:00-14:00 総会 昼休

14:00-14:30 大会長学術講演「アドラーの世界観」

14:30-16:30 シンポジウム「日本のアドラー」

16:30-18:00 アドラーカフェ(テーブル別の対話&懇親)

## 第4回大会の説明

この学術大会は3/2(土)と3/3(日)の2日間に渡って開催されます。

場所は都心の東京ドーム近くの東洋学園大学です。

オンラインやハイブリッドではなく完全なる対面で開催されます。

けれども、参加申込はオンラインです。大会や研修会への参加申請や参加費支払いや発表申込などは大会ホームページからのみとなります。

しかし、当日参加はオンラインでなく対面でできます。事前申込の方がお得ですが、当日朝に思い立ったとしても大会に参加できます。研修会も定員に空きがあれば当日参加できます。

3/2(土)は研修会とアドラーマーケット、3/3(日)は研究発表、総会、講演、シンポジウム、アドラーカフェがあります。

### <感染症対策>

消毒液の設置や換気を行います。

自他への感染を防ぐために手洗い、濃厚接触回避、マスク着用のご協力をお願いします。

新型コロナウイルスに感染した場合は自主的に参加や発表を見合わせてください。

飲食を伴う懇親会はありませんが、アドラーマーケットやアドラーカフェを懇親の場としてください。



研修会 2024年3月2日(土) 13:00 ~ 17:00

## 「アドラー心理学入門」

2F フェニックスホール

講師：浅井健史（明治大学）

研修会このワークショップでは、アドラー心理学の実践の基礎となる、中核的な思想、理論、概念を理解することを目的とします。

もっとも、それらの意味を1つ1つ解説するだけでは、学習者の頭の中は「木を見て森を見ない」ようなバラバラの知識の集まりになってしまいます。

私自身もそうでしたが、アドラー心理学の知識を一通り学んでも、それらの相互関係がよく見えないため、実践適用に難しさを感じる人も少なくないのではないのでしょうか。

これに対して、アドラー心理学という1つのシステムにおける各々の思想・理論・概念の関係性も理解できると、それらは臨床現場や日常生活での実践に活用できる知識となります。

今回はそうした問題意識から、浅井が考案したモデル図（実践思想の triad モデル、内的ダイナミクス・モデル、共同体感覚の包括的構造モデルなど）を用いて、思想・理論・概念の相互関係を視野に入れた、「木と森を同時に見る」ような、アドラー心理学の全体論的理解を目指します。

グループワークやディスカッションも取り入れ、参加者の皆様とともに、双方向的な学びの時間になりたいと考えています。

独自のアドラー心理学への視点も提示しますので、初学者だけでなく、経験者の方にもご参加いただければ嬉しく思います。

## 「勇気づけ」

4F 1401

講師：熊野英一（株式会社子育て支援）

アルフレッド・アドラーは「もし、私が一つだけ子どもに贈り物をする事ができるならば、私は勇気を選ぶ」と言っています。

また、アドラーの高弟、ルドルフ・ドライカースは「植物が水を必要としているのと同じように、子どもは勇気づけを必要としている」と言っています。

「困難を克服する活力を与えること」と定義される「勇気づけ」。

子どもに限らず、年齢的には十分に成熟した大人になっている我々も、勇気づけによって、失敗を恐れず一歩を踏み出すことができたり、逆に、勇気の欠如により、自分の課題から目をそらして、非建設的な対処を選択してしまったりすることは、日常的に経験しているでしょう。

「勇気づけ」はアドラー心理学の根幹を成す「技法」のひとつですが、これを表層的に学び、「小手先のコミュニケーションのテクニック」と捉えて対人関係に適用してしまうと、むしろ相手の「勇気をくじく」ことになってしまう場合もあるのが、やっかいなところです。

この講座では、アドラー心理学をこれから学ぼうとしている方から、長年に渡りそれを学び、実践している方までを対象に、理論と実践の両方に軸足を置いたプログラムを展開します。

この講座を受け終わる頃には、

「勇気づけとは、単なる技法ではなく、土台となる態度を整えることが最も大切である」

「勇気づけとは、何か素敵な言葉を相手に投げかけることだけではない」

「自分自身が勇気に満ち溢れていなければ、他者を勇気づけることは難しい」

といった本質的な学びを得られることでしょう。





研修会 2024年3月2日(土) 13:00 ~ 17:00

## 「課題の分離」

4F 1402

講師：八巻秀（駒澤大学）・久保田将大（東京都石神井学園）

数年前の「嫌われる勇氣」ブームもあり、「アドラー心理学と言えば『課題の分離』」と認識されている非アドレリアンの方も多いように思われます。それほど「課題の分離」の発想は日本社会においてセンセーショナルなものでありました。その「分離」という語の衝撃が大きく、「課題の分離」の中に含まれる「共同の課題」へのプロセスが伝わり難くもあります。プロセスのイメージを共有すべく、近年のアドラー心理学界隈の中でも「課題の分離」から「課題の分担」という語へ変化していく流れもあります。一方でアドレリアン界隈に置いては「課題の分離・分担」の思想は解っていたとしても「自分の実践している『課題の分離・分担』は、はたしてこれでいいのだろうか？」と考えてしまう方もいらっしゃるのではありませんか？このワークショップでは、「課題の分離・分担」について理解を深め、日々の実践に活かせる自信を持てるようになることを講師たちと参加者の「共同の課題」と設定し、講師たちが「分担」して考えたワークを通して体験的に学べるものになればと考えています。この機会に「課題の分離・分担」について一緒に考えてみませんか？この課題にご協力していただける方のご参加をお待ちしております。

## 「早期回想」

4F 1403

講師：深沢孝之（山梨県立大学 / 心理臨床オフィス・ルーエ）

早期回想とその解釈法は、アドラー心理学的アセスメントの肝として知られています。しかし、どこか名人芸的なイメージがあり、なかなか自信が持てない人も多いようです。本研修では、心理アセスメントにおける早期回想の考え方と解釈の基本的なやり方について解説します。実際に早期回想をクライアントから聞き出し、解釈するプロセスをできるだけ多く実習したいと思います。アドラー心理学初学者向けですが、経験者は自らの知見をシェアしていただければと思います。

## 「不適切な行動の目的」

4F 1404

講師：佐藤丈（北杜市立小淵沢小学校）

個人心理学では「不適切な行動には注目せず、適切な行動に注目する」ことが、適切な行動に子どもを導く良い方法だと言われます。また「不適切な行動による、本人への不利益を体験させ、そこから学ばせる。」という「自然の結末」という考え方も広く知られているところです。このシンプルな方法論は、効果的である反面、不適切な行動を放置する「放任」になりかねないという、危険性もはらんでいます。「不適切な行動に注目しないようにしていたら、その行動がますますエスカレートして、大変なことになった。」という経験をもつ、保護者や、教師は少なくないはずで、それではどうしたらよいでしょう。この問いを入り口に、幅広く、個人心理学について語り合い、学び合いたいと思っております。ぜひお越しください。





**アドラーマーケット**

2024年3月2日(土) 17:00 - 18:00

- 研修会後に懇親を兼ね、出版物を介して会員相互の交流を図ります。
- アドラーの本を出している出版社が出店します。
- 加えて、アドラー関係の本の著者が自著を持参し展示したり即売したりする場を設けます。
- このアドラーマーケットに出店できるのは日本個人心理学会の会員と準会員です。
- 出店に関して事前の申請や認可は必要ありませんが、会場の都合上、大会参加フォームで大会参加や研修参加や発表申込と並んでアドラーマーケット出店をうかがいます。
- 著書がある会員の方は自分の書いた本を持ってきて披露したり販売したりできます。
- 本の価格設定は自由です。取引に学会は一切関与しません。
- 参加者の皆さんは著者と直接触れ合う機会としてください。
- 自分が書いた本でなくても販売することができます。
- 但し、日本個人心理学会の学会誌は展示も販売もできません。
- また、当日出店している出版社の本は展示できますが売ることはできません。
- 本でなくてもアドラー関連グッズの販売も可能です。怪しい物は出品しないでください。
- 飲食品の販売は不可です。
- 場所は会場の机や椅子などを使って各自適当に陳列してください。
- 貼り紙や値札などをつけてもかまいません。
- 大学の机や機材の貸し出しはありません。机などの持ち込みもできません。
- 会員が書籍を通して発信する参加型の企画ですので、皆様の積極的参加を期待しています。
- 最悪、出店が少なくても会場を懇親の場としてお使いください。
- 研修会に参加された方は引き続きアドラーマーケットにご参加ください。
- 研修会に参加せず、アドラーマーケットのみに参加される方は大会参加申込(当日参加可)が必要です。







一般演題発表・自主シンポジウム

2024年3月3日(日) 10:00 - 12:00

教室 時間	2F フェニックスホール	3F 1301	3F 1302	3F 1303
10:00   10:30				
10:30   11:00	<p>不妊治療現場におけるアドラー心理学環境に働きかける「勇気づけ」の一考察</p> <p>発表者: 中村 彩 (torch clinic 臨床心理士 公認心理師 生殖心理カウンセラー がん・生殖医療専門心理士) 座長: 前野隼兵 (横浜労災病院勤務者メンタルヘルスセンター)</p>	<p>【自主シンポジウム】</p>	<p>アドレリアン・カウンセリングにおける Negative Capability 概念の検討</p> <p>発表者: 浅井健史 (明治大学) 座長: 井手敏郎 (一般社団法人日本グリーフ専門士協会)</p>	<p>「誰が何にどのように困っていて、どうなったらよいと思っているのかシート」の開発と活用</p> <p>発表者: 佐藤 文 (北本市立小淵沢小学校) 座長: 金井津美 (Finding me)</p>
11:00   11:30	<p>アドラー自身の夫婦関係がアドラー心理学理論に与えた影響についての一考察 —結婚観に着目して</p> <p>発表者: ○矢吹理恵 (東京都大学) 八巻 秀 (駒澤大学) 座長: 前野隼兵 (横浜労災病院勤務者メンタルヘルスセンター)</p>	<p>「課題の分離・課題の分担」理論の現在とこれから</p> <p>企画者・司会・シンポジスト: 久保田 将大 (東京都石神井学園) 八巻 秀 (駒澤大学・SY プラケティス)</p> <p>シンポジスト: 富安 哲也 (亀田総合病院臨床心理室) 水野 美津子 (アドラーと仲間たちの会)</p>	<p>目的論の“落とし穴”にはまらないために —関係性心理学としてのACAから目的論を再定位する—</p> <p>発表者: ○吉田 光成 (専修大学大学院) 箕口 雅博 (立教大学) 座長: 井手敏郎 (一般社団法人日本グリーフ専門士協会)</p>	<p>勇気づけと質問技法</p> <p>発表者: 日山敦生 (緑システム研究所) 座長: 金井津美 (Finding me)</p>
11:30   12:00	<p>日本人のスピリチュアル・タスクと神道の世界観</p> <p>発表者: 深沢孝之 (心理臨床オフィス・ルーエ/山梨県立大学) 座長: 前野隼兵 (横浜労災病院勤務者メンタルヘルスセンター)</p>		<p>発表者: ○飯村 周平 (駒澤大学大学院人文科学研究科) 八巻 秀 (駒澤大学・SY プラケティス) 座長: 金井津美 (Finding me)</p>	<p>オープンダイアログを通じた共同体感覚の高まりについての質的研究</p>

総会

2024年3月3日(日) 12:00 ~

年に一度、会員が集まって学会の運営や方針について報告と審議を行う学会としての全体会議の場です。会員限定なので会員以外の方は退出願います。

昼休み

2024年3月3日(日) 総会終了後 ~ 14:00

総会終了後に昼休みとなります。

当日、大学内の学食は営業していません。お弁当の販売はありません。

飲み物の自販機はあります。会場内で飲食はできます。

日曜日のため近辺は閉店している店が多いです。紙面によるランチマップは用意します。

こぼした食べ物やコーヒーなどの染みが絨毯についてしまった場合は応分の清掃費を請求します。

こぼれやすいカップでなくペットボトル形態の飲料をお勧めします。





大会長学術講演 2024年3月3日(日) 14:00 - 14:30

2F フェニックスホール

## 「アドラーの世界観」～自由エネルギー原理との関連において～

鈴木義也(東洋学園大学 しままカウンセリング)

## アドラー心理学の目的は民主主義なのか

- ・NHKが2024-2026の経営計画において究極の使命として掲げているのは「健全な民主主義の発達に資する」(放送法第一条)ことである。
- ・アドラー心理学の目的も同じではないだろうか。
- ・本学会の目的は会則によればアドラー心理学の推進だが、アドラー心理学の目的は心理学の発展ではなく、民主的な社会の発展である。
- ・具体的な社会を扱う政治学や社会学などと異なり、心理学は社会をよりミクロな視点から扱っている。アドラー心理学もダイレクトに社会の潮流を扱うことは稀だが、それらは社会の発展に向けた実践なのである。

## アドラー心理学は「all in one」

- ・アドラー心理学は「all in one」である。アドラー心理学には幅広い総合性と全体性があるので、それだけ学べばどの領域でも十分にこなしていける。(排他的になるつもりはないが)
- ・アドラー心理学を学ぶのに医学、心理学、教育学の基礎知識や資格はなくてもいい。むしろ、アドラー心理学の基礎知識を学ぶことが有益である。
- ・アドラー心理学は社会に向けて設計されており、社会の多様な領域に活用できるシロモノである。
- ・但し、日本個人心理学会は学術団体として心理学系学会の仲間入りをしようとしているので、学術的な心理学が要求する基準や規定は学会として満たさなくてはならない。

## 自由エネルギー原理について

- ・9世紀にHelmholtzは「人の感覚は不完全なため、無意識的に推論を行い、不足した情報を補っている」として「無意識的推論」という機能を唱えた。
- ・それに基づきFriston(2006)は「生物は感覚入力の予測しにくさを最小化するように内部モデルおよび行動を最適化し続けている」という脳の認知機能を統一的に説明する「自由エネルギー原理」を提唱した。
- ・知覚は「現在の外界の状態の推定」、行動選択は「未来の外界の状態の推定(の帰結)」、学習は「生成モデルのアップデート」(吉田2019)としてまとめられる。
- ・自由エネルギー理論を用いると精神疾患について「推論能力の異常として統一的な説明を可能」(磯村2018日本神経回路学会誌)とすることができる。
- ・自由エネルギー原理を経営に応用する試みもある(野村総合研究所)。

## 自由エネルギー原理とアドラー心理学の関連性

- ・「生成モデル(=内部モデル)」は「世界観」とも呼ばれているが、それはアドラー心理学でいうところの世界観やライフスタイルと同じものと思われる。
- ・さらに、「未来の外界の状態」を推定して行動するというのは目的論に通じるものがある。
- ・自由エネルギー原理から見ると、アドラー心理学における「世界観」は静的な認知論だけではなく、「現在の外界」と「未来の外界」という世界観を安定化するための動的な目的論的行動も含めた産物と言える。
- ・それゆえ、アドラー心理学の世界観、ライフスタイル、共同体感覚なども自由エネルギー原理で統一的に説明することができるかもしれない。
- ・共同体感覚は自由エネルギー原理で言うところの推論であり、これは民主的な社会を形成することに向けた推論を具現化したものと思われる。
- ・この「世界観」とは、人生観、自分観(自己像や自己理想)、他人観、人間観、価値観、思想、ライフスタイル、目的論などを含み総合的に構成されている「内的生成モデル」と同様である。
- ・この「世界観」を把握し、そこに働きかけることが肝要である。そこがアドラー心理学にとって重要である。
- ・また、そのためには世界観を共有することが必要で、共有によって各自の世界観が理解されるだけでなく、社会を見据えた共同体感覚のレベルでの補正がなされるからである。
- ・それをおこなってきたアドラー心理学が、自由エネルギー原理によって(効果測定というエビデンスではなく)、真の心理学理論かつ脳科学的裏付けを得られることを期待するものである。
- ・自由エネルギー原理によってアドラー心理学の理論が立証され、より多くの人がアドラー心理学から受益されるようになることを願うばかりである。
- ・一方で、自由エネルギー原理からアドラー心理学を解釈し直すこともできるかもしれない。





シンポジウム

2024年3月3日(日) 14:30 - 16:30

2F フェニックスホール

## テーマ「日本のアドラー」

日本のアドラー心理学史のシンポジウムです。日本のアドラー心理学が公の場で自らの軌跡を振り返るのはおそらく初めてではないでしょうか。

日本ではアドラー心理学がどのように輸入され展開していったのか。私たちの知らない初期の局面を知るシンポジストをお招きし、それぞれの方にとってアドラー心理学とは何だったのか、どうなっていったのかという歴史を辿ります。歴史を踏まえて、今後の発展のための展望も得られることを期待しています。

### シンポジスト

#### 古田 富子 (ファミリーカウンセリングルーム)

1981年株式会社グループダイナミックス研究所に勤務の傍らユング心理学を学ぶ。  
勤務先でアメリカから帰国された野田俊作先生に出会い、アドラー心理学を知る。  
1983年有限会社アドラーギルド創立に関わり、マネージャー役を担いアドラー心理学を学ぶ。  
スマイルリーダー、アップルリーダー、シニアカウンセラー等、認定資格を得て、1987年独立し  
ニュライフセンター設立、その後2018年神戸にファミリーカウンセリングルーム開設現在に至る。  
アドラー心理学ベーシック講座、アドラー心理学カウンセリング講座、エルム講座(ヒューマンギルド共催)  
個人カウンセリングの他アドラー心理学を軸として夫婦関係「プライム」、  
思春期の子ども達の付き合い方「コンプリオ」孫との付き合い方「FE」等のセミナーを開催している。  
共著「効果的な家族コミュニケーション」1999年9月古田富子、星順子他 ジェイトラスト自主出版  
共著「わくわく子育て」2000年8月古田富子、田中瑞枝他 ジェイトラスト自主出版  
1990年大阪医療秘書福祉専門学校非常勤講師

#### 岩井 俊憲 (有限会社ヒューマン・ギルド)

シンポジストの岩井先生が体調不良のため急遽登壇できなくなりました。代わりに岩井先生が作成されたパワーポイントを代読させていただきます。

1983年のアドラー心理学の黎明期から今日まで日本のアドラー心理学の歴史を見据えてきた立場から、アドラー心理学の展開、危機、ムーブメントなどについて当事者として、時に傍観者としての立場で感じたことを、スライドを使いながら可能な限り伝えたいです。それは同時に、今後のアドラー心理学の展開においても参考になると思い立ったからです。

#### 【プロフィール】

1947年栃木県生まれ。早稲田大学商学部卒業。1983年4月から有限会社ヒューマン・ギルド 代表取締役。  
アドラー心理学カウンセリング指導者。元日本アドラー心理学会理事(事務局長)  
函館大学・青森公立大学・複数の看護学校の講師を歴任。2021年4月から2023年3月までハリウッド大学  
院大学客員教授。2016年早稲田大学エクステンションセンター講師。  
企業・自治体を対象にした研修や講演を行うほか、カウンセリングに従事。中小企業診断士の資格を有する。  
著書は『マンガでやさしくわかるアドラー心理学』シリーズ(日本能率協会マネジメントセンター)、『勇気  
づけの心理学 増補・改訂版』(金子書房)から最新著の『超訳 アドラーの言葉』(ディスカヴァー・トゥエン  
ティワン)まで67冊に達する。

司会：深沢孝之(山梨県立大学・臨床心理オフィス・ルーエ)

コメンテーター：鈴木義也(東洋学園大学・しまうまカウンセリング)

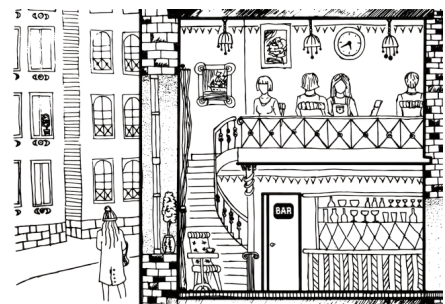


アドラーカフェ  
(テーブル別の対話&懇親)

2F フェニックスホール

2024年3月3日(日) 16:30 - 18:00

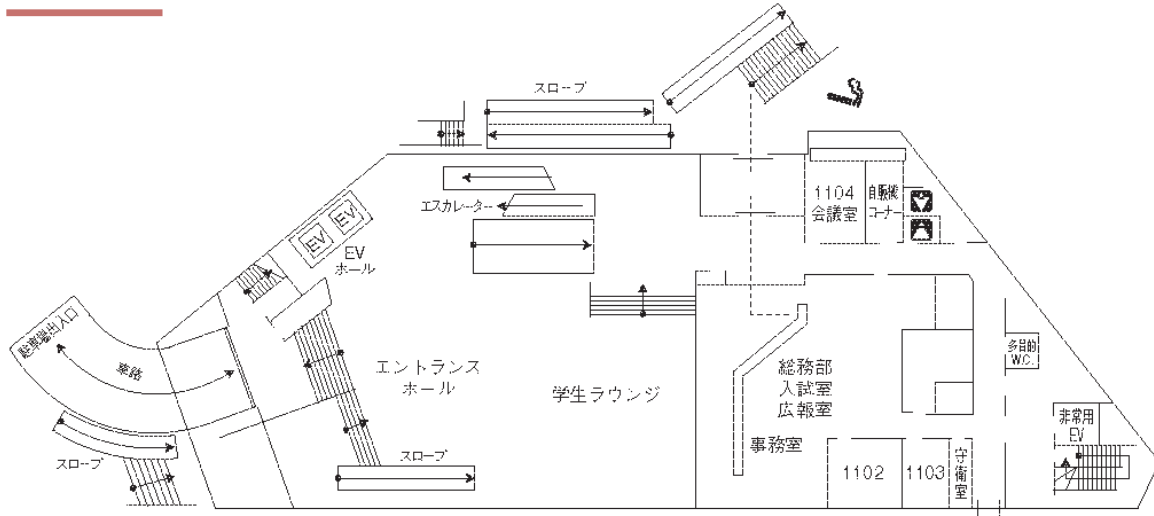
- アドラーは研究室に籠るのではなく、ウィーンのカフェ・ツェントラルにたむろして談話しながら研究を深めていくと聞きます。堅苦しいものではなく、民主的に自由に発言と対話がなされる場であったのかもしれませんが。
- アドラーの対話形態に倣って、小テーブルごとに分かれて談義していただきたいと思います。
- テーブルは中心人物や中心テーマ別にいくつか用意し、バーテンダーさながらにテーブルマスターを置きます。
- お好きなテーブルに集ってください。
- 終わったばかりのシンポジウムに登壇された先生、午前中の発表者、昨日の研修会の講師、そして本学会の面々がテーブルにつかれます。
- 学会というと一方的に聞くだけで、なかなか対話する機会がないのですが、アドラーカフェではテーブルを囲んでお互いが自由に話す機会を設けます。当日の状況で新たなテーブルが出現するかもしれません。
- テーブルごとの事前予約や定員制限はなく、どのテーブルにつくかはその時の流れに任せてください。
- アドラーマーケットと同様の新しい参加型の企画ですので楽しみに。
- このアドラーカフェをもって、第4回大会は幕を閉じます。



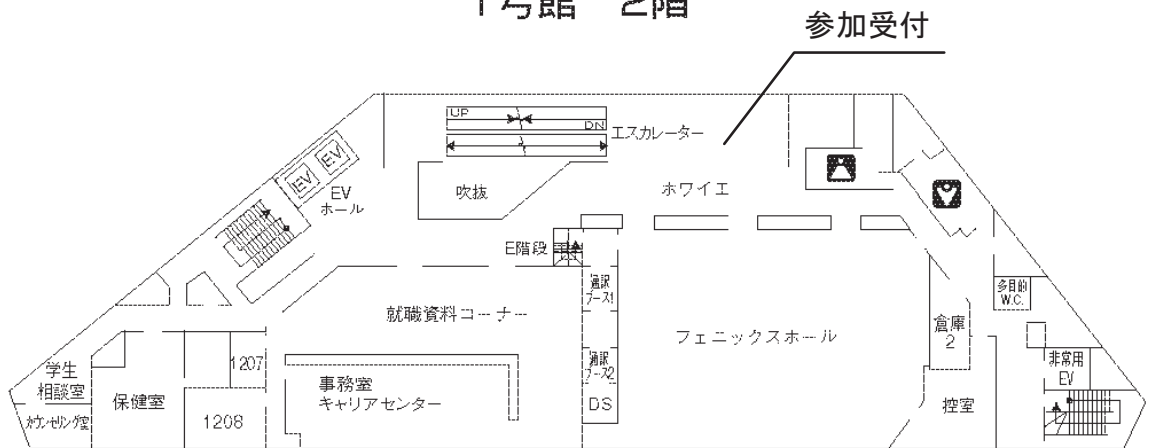


会場案内

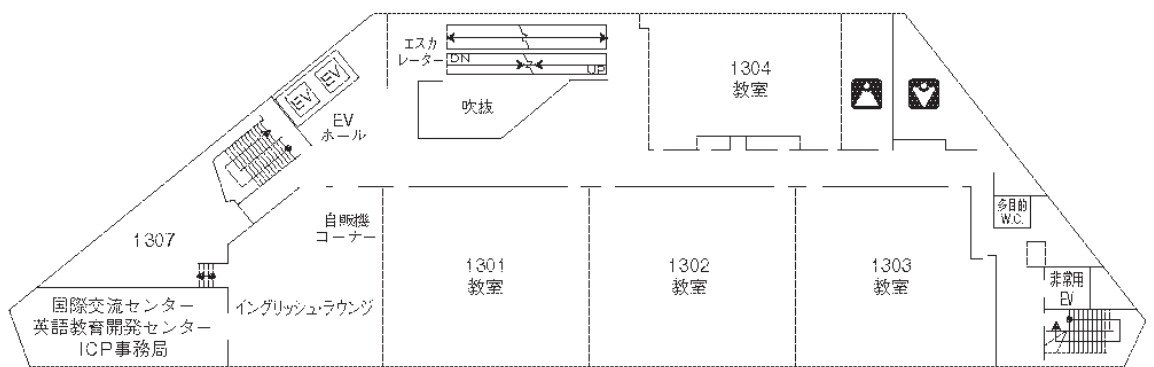
1号館 1階



1号館 2階



1号館 3階



会場へのアクセス 東洋学園大学 本郷キャンパス 〒113-0033 東京都文京区本郷 1-26-3

① JR 総武線「水道橋」駅	東口から	徒歩 7分
② 都営三田線「水道橋」駅	A6 出口から	徒歩 3分
③ 東京メトロ丸ノ内線「本郷三丁目」駅	改札を出て左	徒歩 4分
④ 都営大江戸線「本郷三丁目」駅	改札を出て右	徒歩 6分
⑤ 東京メトロ丸ノ内線 / 南北線「後樂園」駅	1～3 番出口から	徒歩 7分



本郷三丁目駅からは商店街を進んで左手  
引用元 : <https://www.tyg.jp/access/index.html>



水道橋駅からはモザイク壁画が目印







# アドラー・セレクション

岸見一郎 訳  
四六判並製 192~300頁



## 人生の意味の心理学

定価 1,700円+税 ISBN978-4434296864

なぜ人生についての意味づけ(ライフスタイル)を変えれば、世界は驚くほどシンプルになるのか? 心理学の巨匠アドラーが、平易な言葉で雄弁に語りかける幸福論!

人生の意味は他者への関心と貢献、協力であることを、夢、早期回想、家族布置の事例を通して明らかにし、さらに共同体感覚を育むための学校教育の重要性、犯罪の予防と犯罪者の更生、人類のためになされるべき結婚の意義について論じる!

## 個人心理学講義

定価 1,500円+税 ISBN978-4434309779

どうすれば共同体感覚に支えられた健全な優越性を追求することができるのか? ウィーンからニューヨークへと活動の拠点を移したアドラーが初めて英語で出版したアドラー心理学入門の決定版!

## 生きる意味を求めて

定価 1,700円+税 ISBN978-4434114304

優越性の追求を健全なものに導いてくれる生きることの意味とは何か? 他者との共生、他者への貢献にその答えを見出すアドラー晩年の円熟の著作!

## 人間知の心理学

定価 1,500円+税 ISBN978-4434289675

何をどう知れば自分や他者を「知る」ことになるのか? ウィーンでの公開講義をもとに成立し、後に英訳されてアメリカで好評を博したアドラーの代表作!

## 性格の心理学

定価 1,500円+税 ISBN978-4434137761

人の性格はどのように選択され、どうすれば改善することができるのか? 共同体との結びつきから性格を分析、その改善・発達の方角性を探るアドラー唯一の性格論!

## 人はなぜ神経症になるのか

定価 1,500円+税 ISBN978-4434275524

人はなぜ神経症になるのか、どうすれば神経症は治療できるのか? 豊富な症例の検討を通じて、神経症の根底にあるライフスタイルを明らかにする!

## 子どもの教育

定価 1,700円+税 ISBN978-4434278549

勇気をくじかれ失われた子どもの自信をどうすれば取り戻すことができるのか? 就学以前に身につけられた誤ったライフスタイルの改善を目指すアドラー-育児・教育論の基本書!

## 教育困難な子どもたち

定価 1,500円+税 ISBN978-4434116506

子どもたちの自信を取り戻すために、親や教師に何ができるのか? アドラーが個人心理学を教育現場に導入することを目的として、ウィーン市教育研究所で行った連続講義、待望の邦訳!

## 子どものライフスタイル

定価 1,500円+税 ISBN978-4434291838

人生の課題から逃れようとする子どもをいかに勇気づけることができるのか? 活動の拠点を新天地アメリカへと移したアドラーがニューヨークで行った症例検討と公開カウンセリングの記録!

## 個人心理学の技術(1) — 伝記からライフスタイルを読み解く

定価 1,700円+税 ISBN978-4434157219

人はなぜ神経症になるのか、どうすれば神経症は改善できるのか? 強迫神経症のウィーン女性の伝記から症状の根底にあるライフスタイルを分析する!

## 個人心理学の技術(2) — 子どもたちの心理を読み解く

定価 2,000円+税 ISBN978-4434165153

アドラーが児童相談所において教師の前で行った症例検討と親と子どもとのカウンセリングの記録!

株式会社 **アルテ**

〒170-0013  
東京都豊島区東池袋 2-26-8  
BIG オフィスプラザ池袋 11F

TEL 03-6868-6812  
FAX 03-6730-1379

WEB <http://www.arte-book.com>  
E-mail [arte@amber.plala.or.jp](mailto:arte@amber.plala.or.jp)

